

# いのち暮らし、守る運動を地域から

「いつでも、どこでも、安心して医療・介護を受けたい」は国民の願いです。

しかし、安倍暴走内閣は、昨年、「医療・介護総合法」を強行し、介護保険制度改悪、医療供給体制改悪につづいて、現在開会されている第189通常国会で医療保険制度の解体につながる「国民健康保険の都道府県単位化」「患者申出療養制度の創設」などを狙っています。いのちと暮らしをまもるため、東京での大運動成功がカギです。みんなで学び、運動を広げましょう。みなさんの参加をお待ちしています。



安全・安心の医療・介護を

実現する大運動

とき 2015年3月29日(日)

13:00~16:45 受付12:45より

ところ 全労連会館 2階ホール

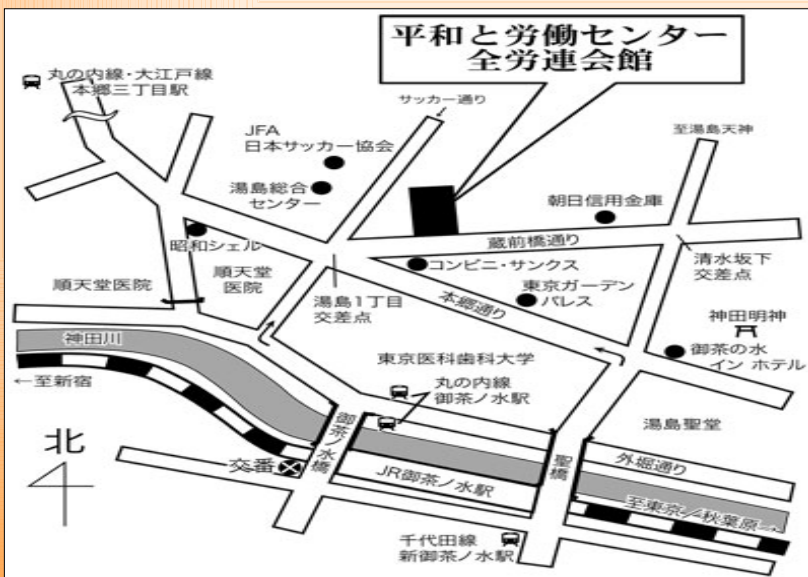
(JR・地下鉄丸ノ内線 御茶ノ水駅下車徒歩8分)

内容 「社会保障改革の現段階を検証する」  
講師:芝田英昭立教大学教授



☆☆パネルディスカッション☆☆

- ①患者申出療養制度
- ②国民健康保険の都道府県単位化
- ③日の出町の窓口負担無料化の実践 など



東京集会

集会実行委員会  
構成団体(順不同)

東京社保協、東京土建、東京保険医協会、東京地評、東京自治労連、  
東京民医連、障都連、東京の保健衛生医療の充実を求める連絡会

連絡先:東京社保協 170-0005 豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館6階、Tel.03-5395-3165・fax03-3946-6823